

実施期間
2021-2023

実用化開発場所
南相馬市

連携自治体
南相馬市

株式会社スペースエンターテインメントラボラトリー

即応性と経済性を両立した無人化技術で「海」の課題解決に挑む

四方を海に囲まれた日本。海に関連する課題は産業利用の推進、由来する自然災害、環境の維持保全等と複雑化・広域化しています。これらの社会的課題に対応すべく、UAVを用いた即応海洋観測・監視プラットフォームの実用化開発を目指します。

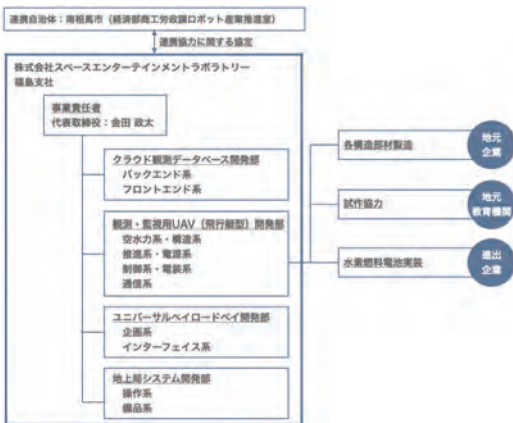


代表取締役
金田 政太

開発背景 海洋を取り巻く社会的課題は複雑化・広域化しています。海洋状況把握において、情報収集コストを削減する無人化・省人化の取組は進んでいる一方、即応性の面で技術的課題があり、UAVを用いた技術の実用化により解決を図ります。

実用化開発の目標	実用化時期	令和5年度(2023年度)
	販売製品・サービス名	UAVを用いた即応海洋観測・監視プラットフォーム
	成果物(最終年度)	UAVを用いた即応海洋観測・監視プラットフォームの構築
	創出される経済効果	南相馬市の地元企業と連携したプラットフォーム製造及びサービス提供拠点整備による地元企業の売上と地元雇用者の拡大

開発のポイント	要素技術	<ul style="list-style-type: none"> クラウドを用いたリアルタイム情報提供技術 UAV(飛行艇型)を用いた観測・監視技術 多様な観測機器に対応したペイロードベイ技術
	開発のポイント	特定の時間・場所における海洋観測・監視を実現する最適な機器構成に加え、高度な衛星通信技術や情報処理技術を用いて、即応かつ低コストで実現できます。



浜通り復興に向けたメッセージ

世界にも類を見ない海洋に特化したUAV技術を福島県浜通り地域から発信してまいります。

浜通り地域への経済波及効果	雇用数	実績	3人(うち、地元雇用者0名)
		今後の予定	26名(うち、地元雇用者16名)
地元企業との連携	拠点立地件数(立地場所)	工場を増設1件(南相馬市)	
	R&D・開発	次世代航空産業におけるR&D等について、協議会を立ち上げ検討を推進している。	
	資材調達	機体部品を地元企業3社より調達	
	製造	試作を地元教育機関1校、地元企業2社と実施	
	販路開拓	-	

これまでに得られた成果	成果品・試作品	<ul style="list-style-type: none"> クラウド観測データベースにおけるペイロードデータの表示機能 観測・監視用UAV(飛行艇型)における基礎技術検証モデル ユニバーサルペイロードベイにおける電源・通信I/F部 地上局システムにおける操作系プロトタイプモデル
	知的財産権	-
	開発技術	※上記の本年度までに得られた成果品・試作品の通り
	自治体との連携実績	南相馬市(実証実験場所の調整、他)
	代表的な企業との連携実績	-
	メディア露出や受賞歴	メディア 日経新聞「海面飛び立つドローン、南相馬沖で試験」他 講演・出張授業 高校や職業能力開発校等で多数

連絡先
株式会社スペースエンターテインメントラボラトリー | 福島県南相馬市原町区萱浜字巢掛場45-245
南相馬市産業創造センター
☎ 0244-26-6208 (担当: 金田政太)
✉ masata.kaneda@selab.jp



投資規模 1~5億円
開発人数 10名未満
販売時期 令和6年度(2024年度)
販売形態 UAVを用いた即応海洋観測・監視プラットフォームサービスの提供
販売見込先 5社(販売時期(2024年頃)、海洋調査会社、研究機関)
協業希望先 海洋調査会社・海洋監視機関、洋上にインフラを持つ企業